



僕が
性行為を
そ
う
し
う
ニ
と

し
な
い

理
由



私と付き合ってください!



えっ...

なんで僕
なんかと...?

この間たくさん
お話して
楽しいなって...

ずっと思い
返して...

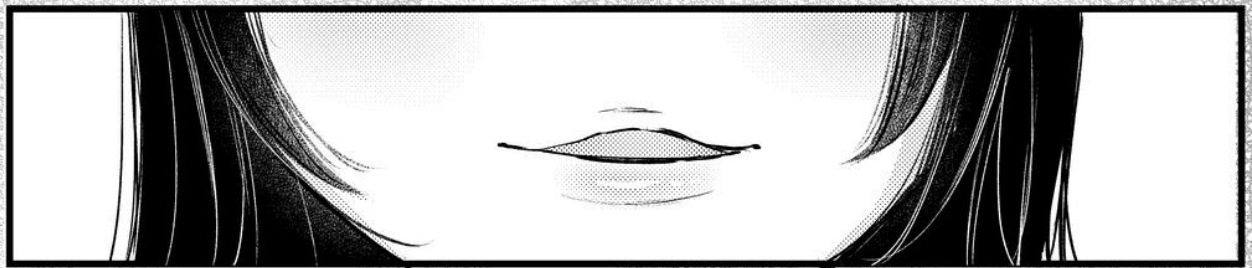
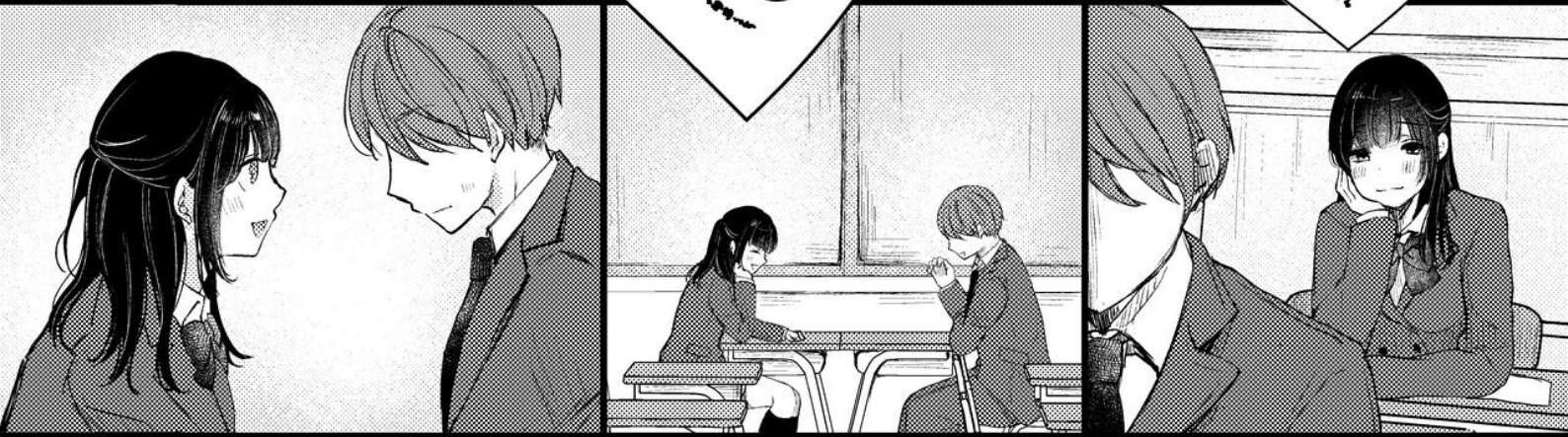


僕でよければ...
お願いします!

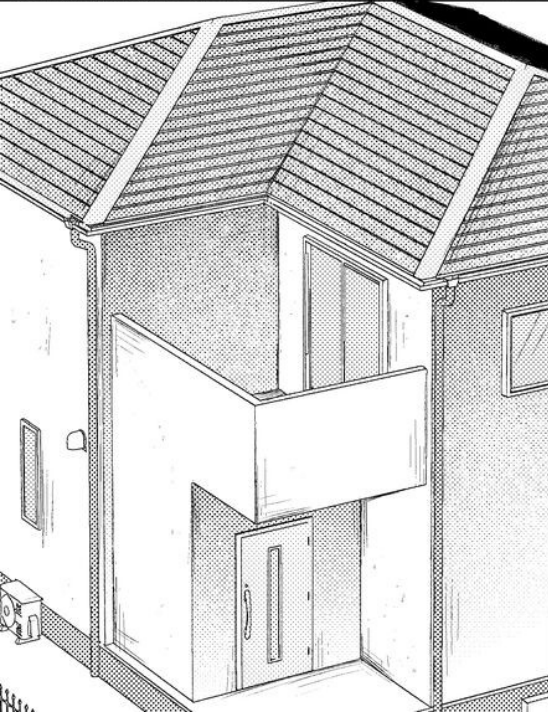
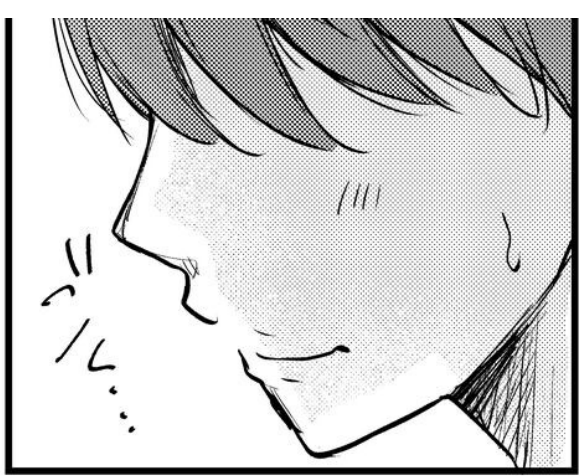
本当っ?

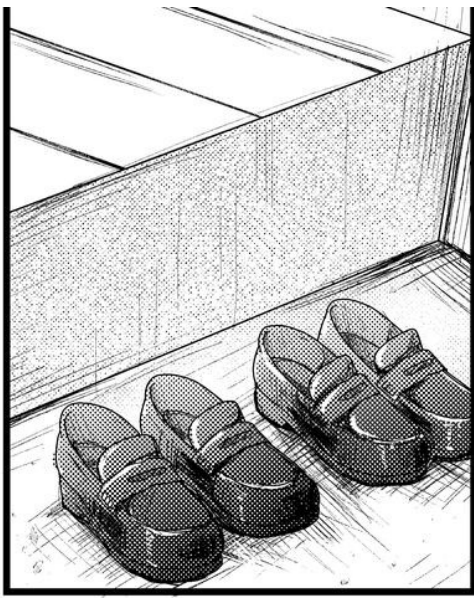
嬉しい!

それが僕ら2人の
はじまりだったー



佳澄ちゃん







んっ...



はぁ?...

はぁ?...

佳澄ちゃん?



ズキ

ズキ



ズキ...

ズキ

ズキ...

ズキ



そう…
だね…



僕もう
帰らないと…

あ…



あついえ…
門限があるので…

もっとゆっくり
してけばいいのに

蒼くんもう
帰るんだ？



お邪魔しました



運さんったら！

大事にして
やれよー



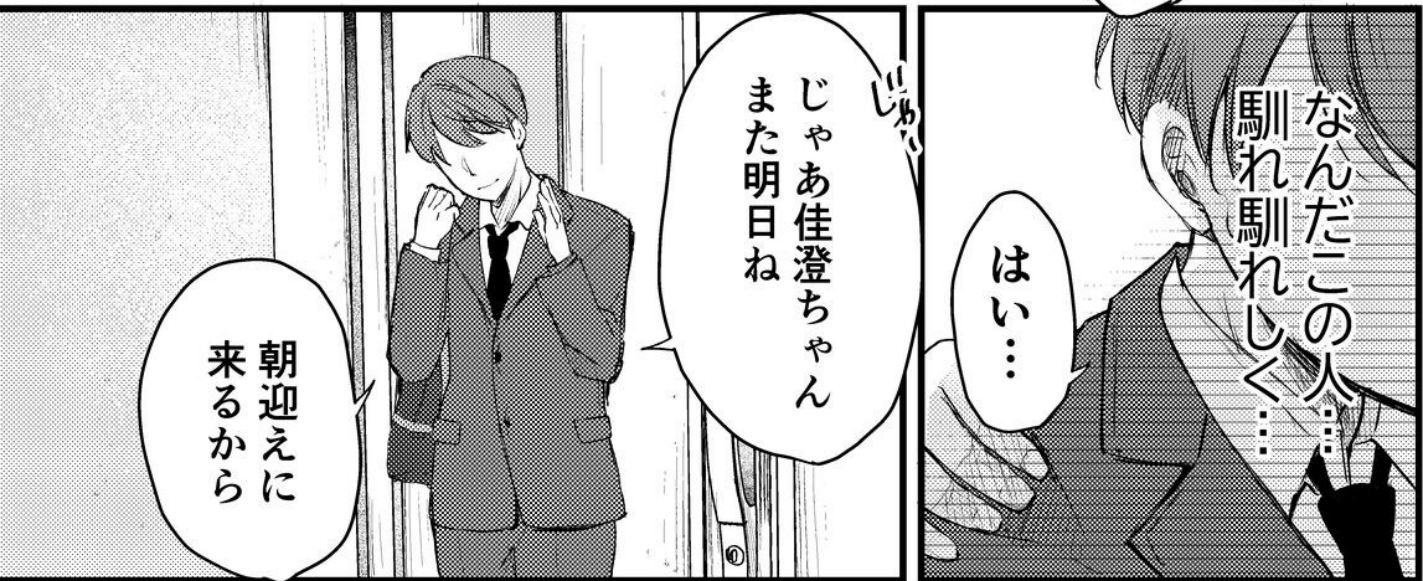
ふーん…



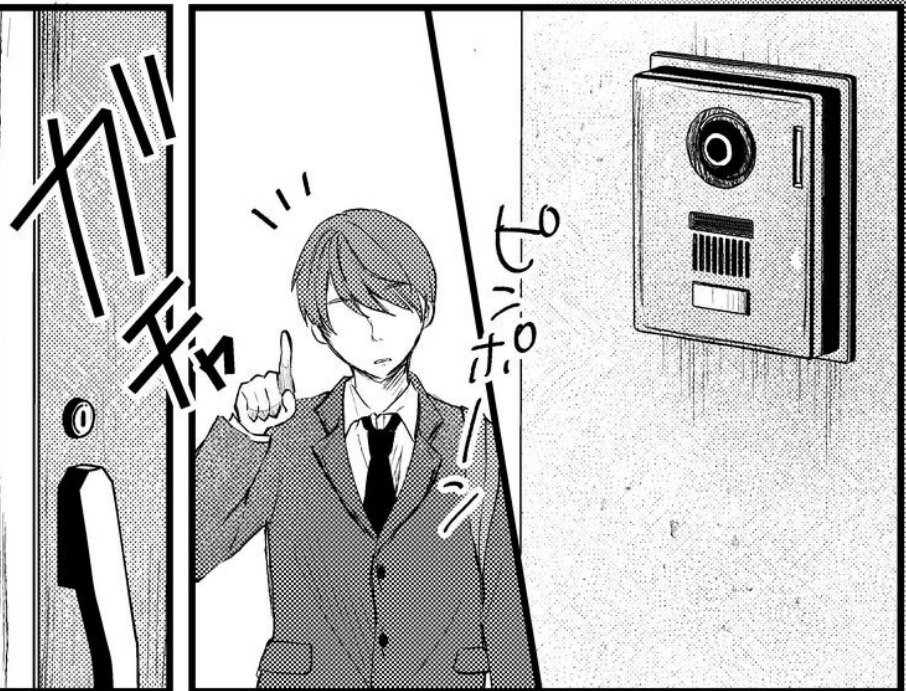
あ…
はい…！

佳澄ちゃん
の
彼氏くん？

モジカくん



あ…スマホ
忘れた…？



俺これから
バイトだからさー
勝手に入って
取ってってよ！

スマホを忘れて
しまった…



蒼くん！
どした？

なにか
忘れ物かー？

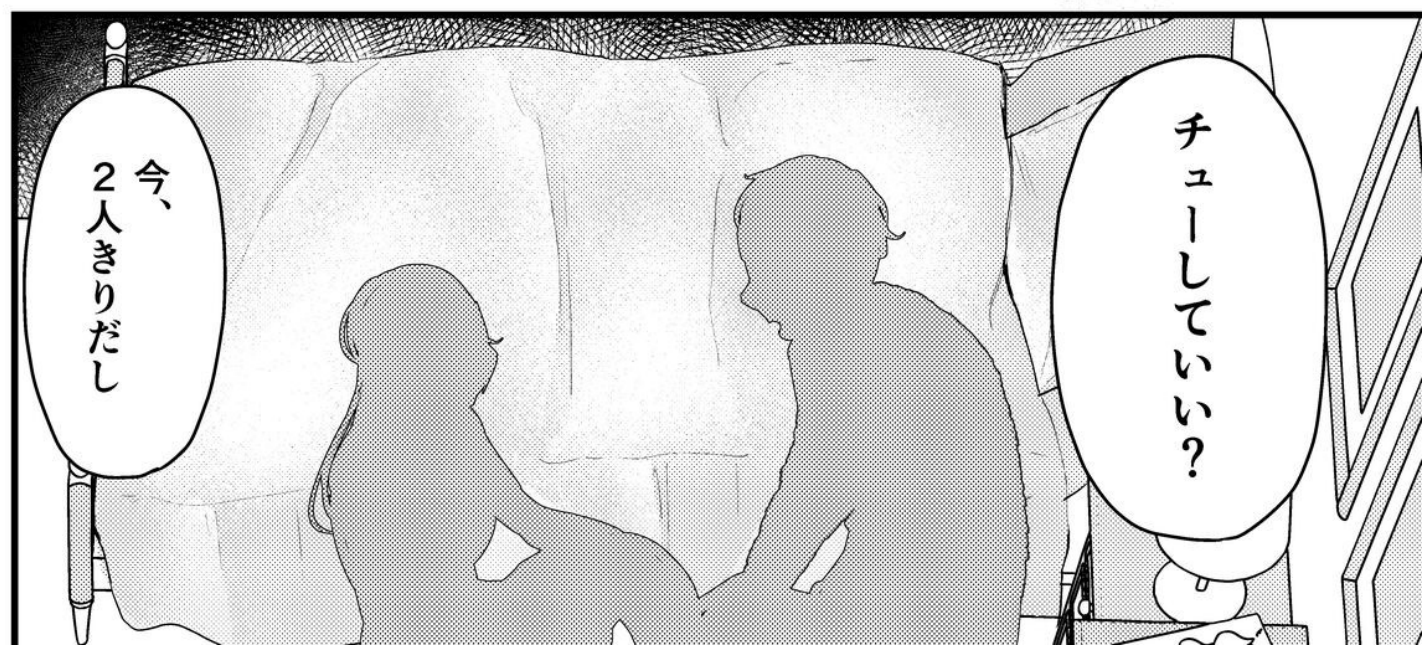
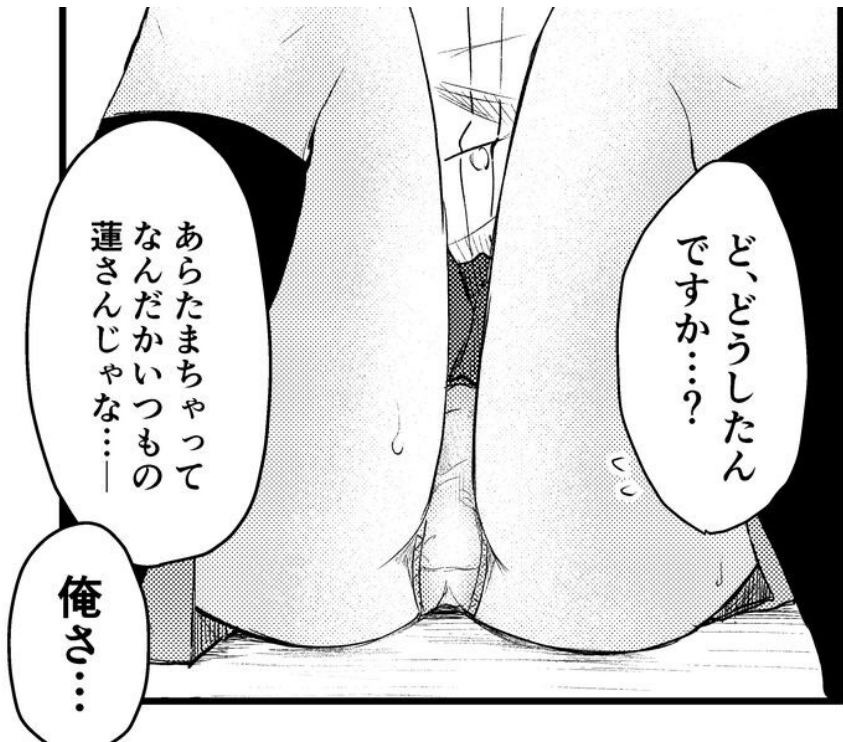
まだ佳澄ら
部屋にいると
思うよ

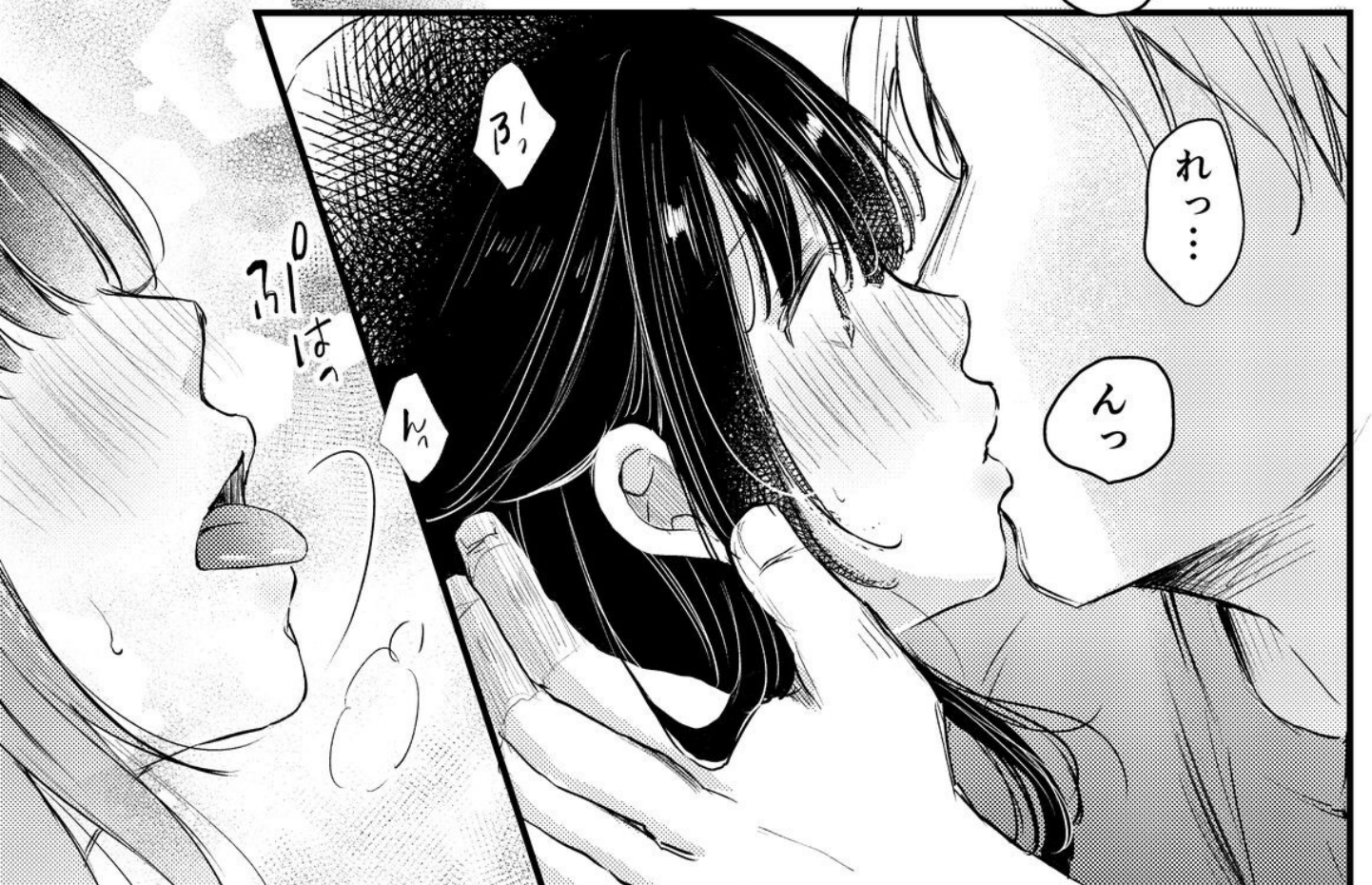
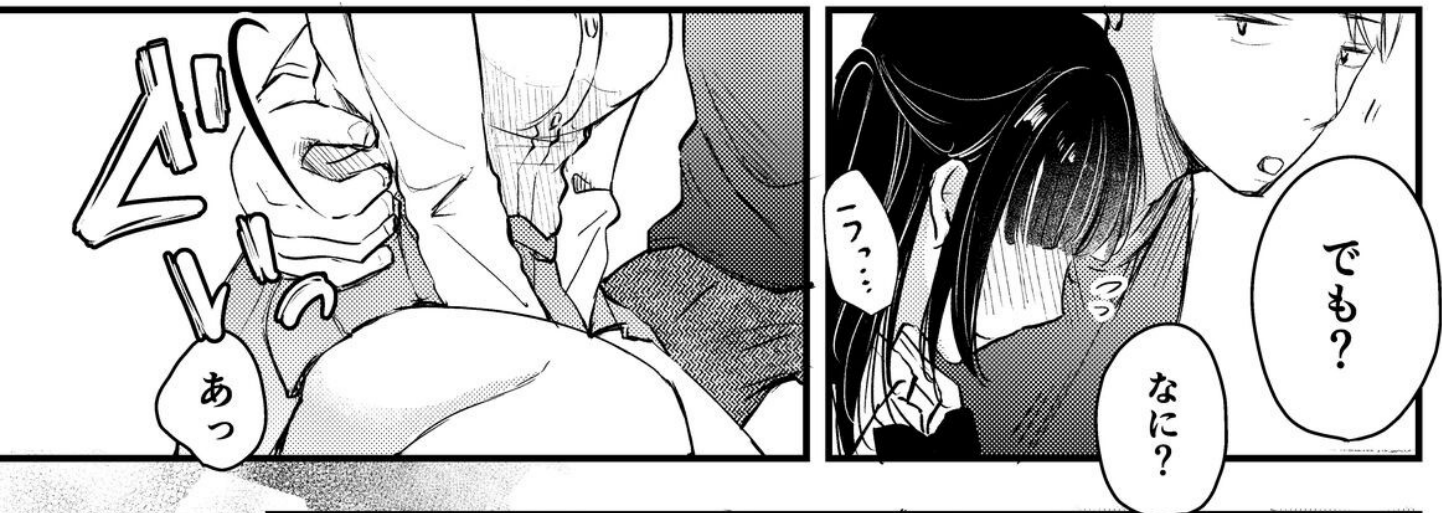
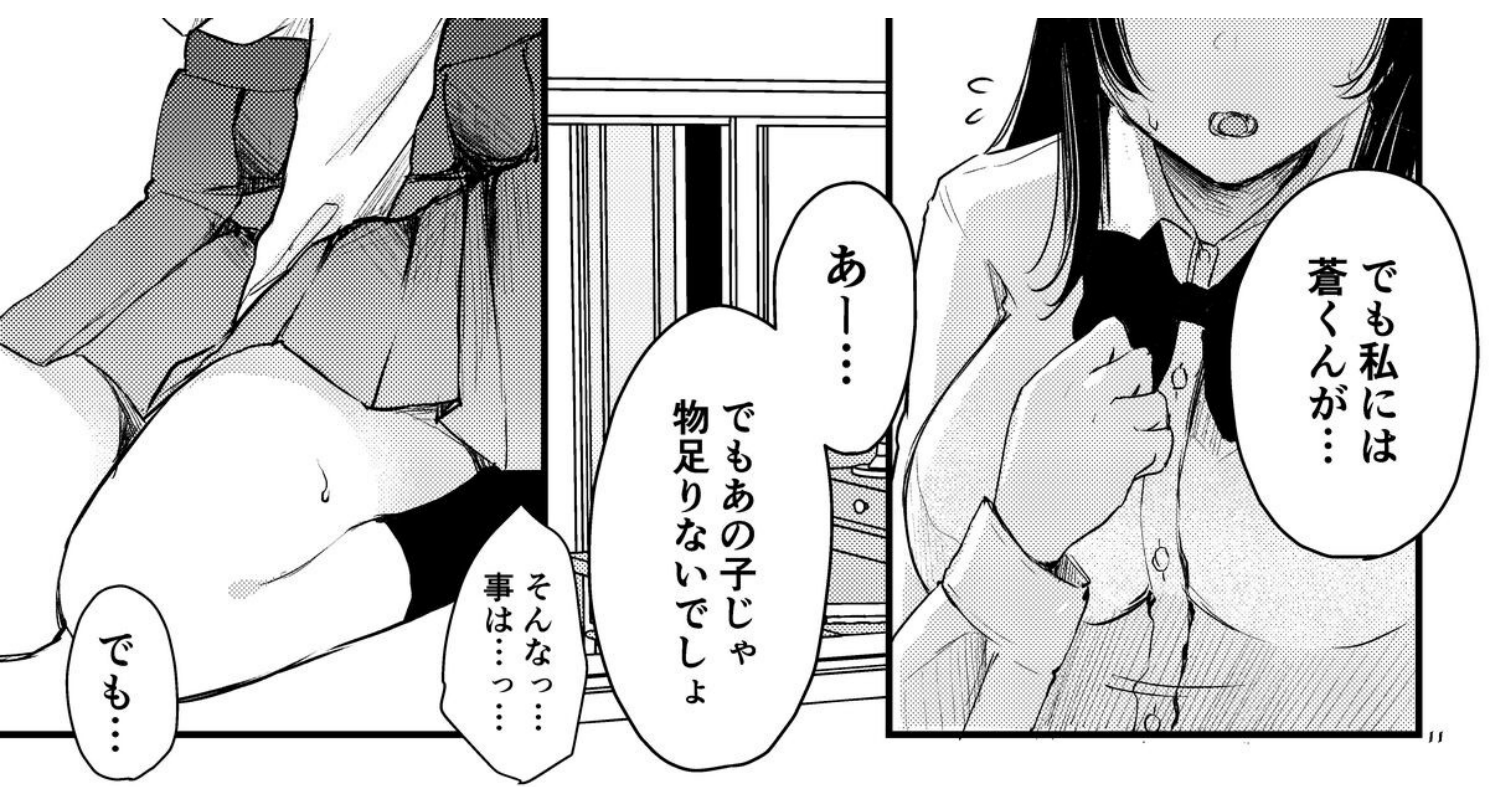
はい…

ありがとうございます…
ごぞいます…

……と……
……事は今……









私の^{なか}腔におちんちんが...

本当に全部挿入しちゃった...



大丈夫...

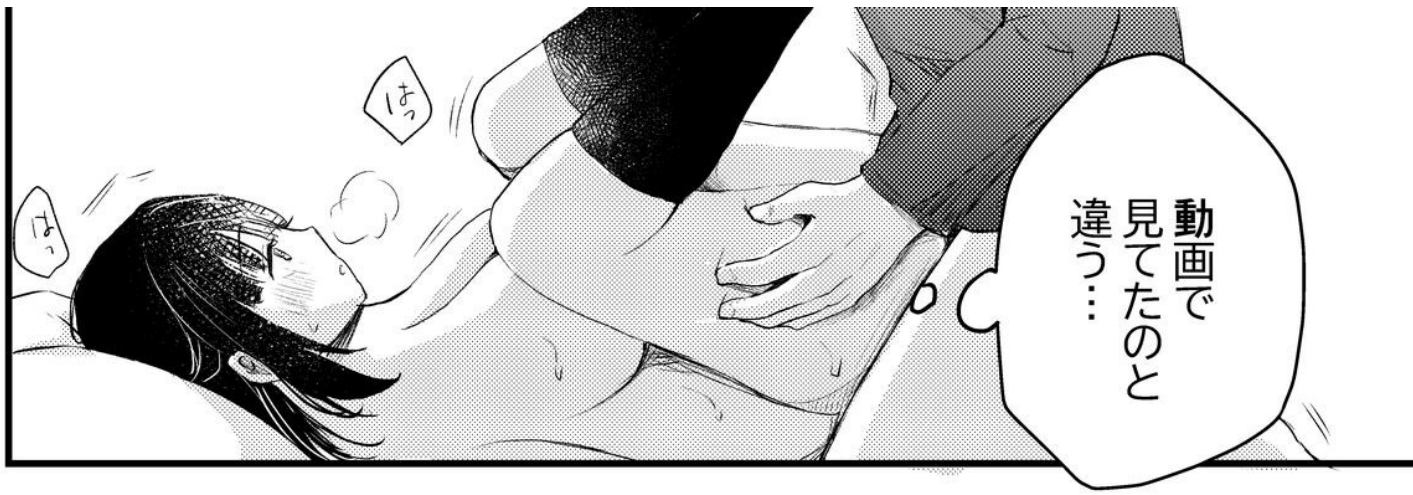
そうです...

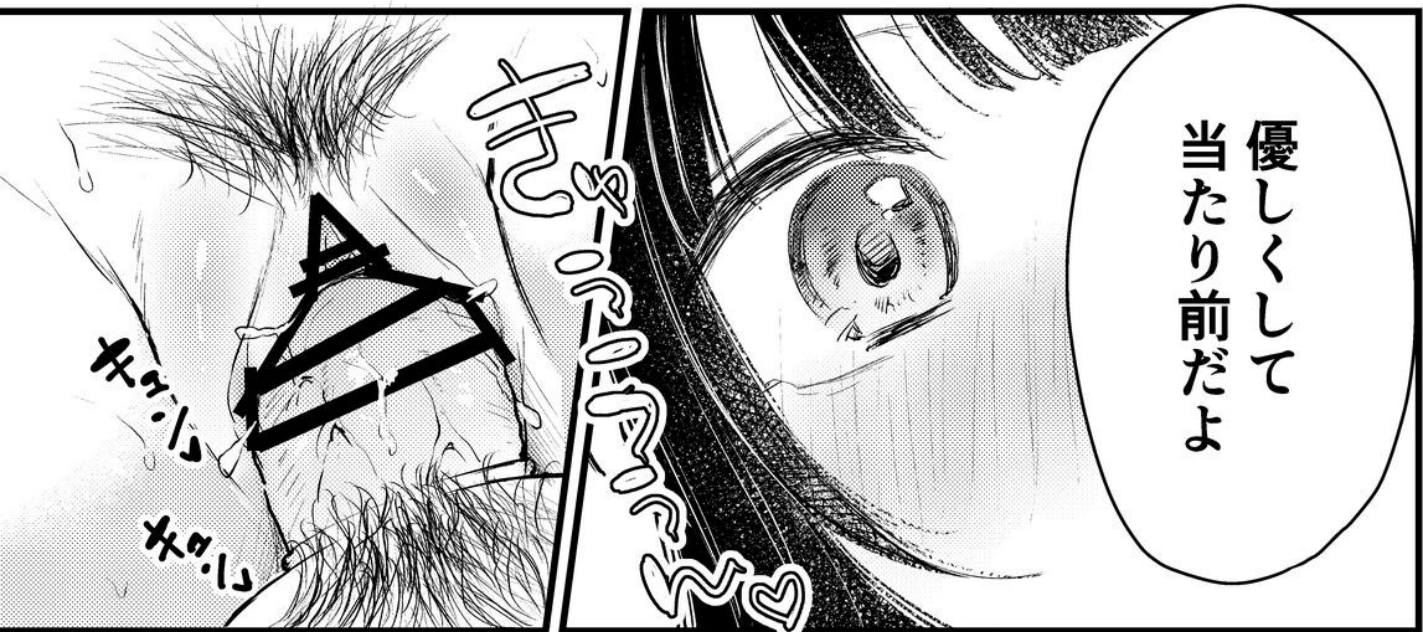
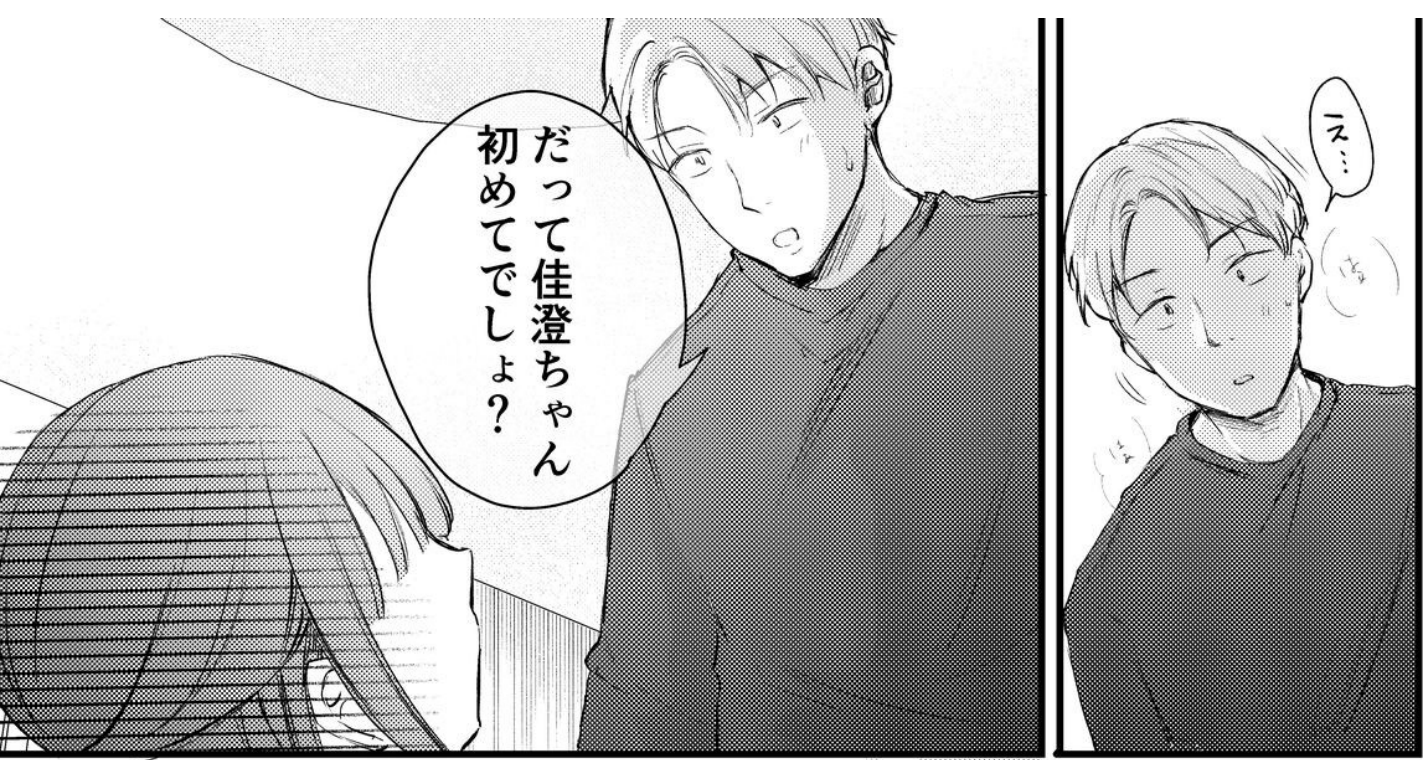
あっはら...

ふん...

大丈夫？

痛くない？









佳澄ちゃんは
どう…?!

はっ

はっ



すげー気持ちいい

佳澄ちゃんの
膣内なか



もっと…

気持ちよく
してくれませんか…

はっ

はっ



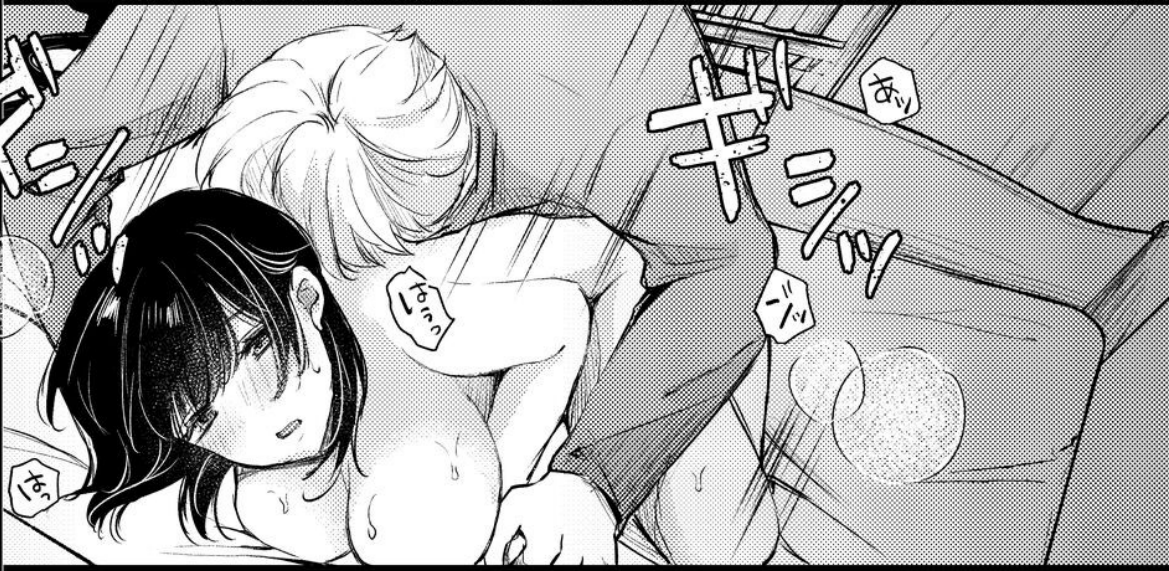
くねますか…?

はっ



佳澄ちゃん…

僕がそういうことを
できなかつたのには



ワケ
理由があつたんだ…



だつて今
初めて

こころ
股間に
響いたから

僕が性行為をしない理由
END

僕がそういうこと性行為を

しない理由ワケ